

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公開番号】特開2005-251472(P2005-251472A)

【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2004-57770(P2004-57770)

【国際特許分類】

H 01 M 10/44 (2006.01)

H 01 M 4/38 (2006.01)

H 01 M 4/58 (2006.01)

H 01 M 10/40 (2006.01)

【F I】

H 01 M 10/44 A

H 01 M 4/38 Z

H 01 M 4/58

H 01 M 10/40 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月21日(2007.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

主としてアニオンが挿入・脱離される正極と、金属リチウム又はリチウムイオンを吸蔵及び放出可能な負極と、非水溶媒にリチウム塩を溶解してなる非水電解液とから少なくとも構成される非水電解液二次電池に充電する方法において、リチウムを参照電極として正極の充電終止電圧を表した場合に5.3～5.6Vと表される電圧まで充電することを特徴とする非水電解液二次電池の充電方法。

【請求項2】

正極が、炭素質材料を含むことを特徴とする請求項1に記載の非水電解液二次電池の充電方法。

【請求項3】

負極が、金属リチウム、炭素質材料、並びに、リチウムイオンを吸蔵及び放出可能な金属及び金属化合物からなる群から選ばれるものを含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の非水電解液二次電池の充電方法。

【請求項4】

請求項1ないし3のいずれか1項に記載の充電方法により充電される非水電解液二次電池。

【請求項5】

請求項4に記載の非水電解液二次電池に用いられる正極活物質。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 6 】

本発明の非水電解液二次電池は、このような本発明の充電方法により充電されたものであり、高容量である。

本発明の正極活物質は、このような本発明の非水電解液二次電池に用いられるものである。